

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月20日

事業所名：ココ はなのき

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が適切であるか	13	1	0	・空きのある場合は希望があれば積極的に受け入れるようにしている。	
	2 職員配置数が適切であるか	11	4	0	・児童の利用数に応じて適宜見直しをしている。 ・社会貢献のため、大学生等若いアルバイトの受け入れをしている。	
	3 設備のバリアフリー等安全に配慮しているか	13	1	0	・エレベーターや多目的トイレを設置している。 ・安全点検を定期的におこなっている。 ・ひやりはっと事例に応じて対策を検討している。	・職員の見守りの強化と児童への注意喚起を継続して行うとともに、事象に気づき安全確保に努める。
業務改善	4 業務改善のためのPDCAに職員が参画しているか	11	2	1	・共有フォルダ等を活用し情報共有を密におこない、感染症等の欠員時も困らない策をとっている。	・PDCAの流れの中で常に意識をもって支援できていくように留意する。
	5 保護者向け評価表などでアンケート調査を実施し、保護者意向の把握、業務改善ができてきているか	13	1	0	・日ごろから保護者意見の傾聴を心掛けている。	
	6 自己評価結果をHP等で公開しているか	12	1	0	・毎年3月に評価結果をHPで公開している。	
	7 第三者外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	4	0	・第三者評価をおこなった。 ・事業所の評価を受けるに当たり、業務整理を進めることができた。	・結果を受けて改善につなげる。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	1	0	・月に1回職員研修を実施している。 ・アルバイト、パートを含め全職員の情報共有や共同研修に努めている。 ・月1回の花ノ木所内研修に参加、LDセンター主催のオンライン研修に参加している。	・今後も研修等を実施し資質向上に努める。また参加できていない職員への伝達研修をしっかりとこなっていく。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	1	0	・計画時とともに日々の実践後に分析を繰り返すように努めている。 ・保護者のニーズを聞き取り個別支援計画作成をすすめている。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	4	1	・行動チェックリスト、コミュニケーションリストを作成し年2回アセスメントをおこなった。行動チェックリストについては、中期に保護者にもつけてもらい確認した。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	1	0	・職員間で相談してプログラム立案をおこなっている。また曜日ごとに立案担当を決め協議して作成している。	
	12 活動プログラムが固定化しない工夫をしているか	11	3	0	・子どもたちが飽きる前にアレンジを工夫したり、年間プログラムの中で見直しをしている。 ・日々のミーティング時に活動内容の確認、検討をおこなっている。	・参加児童の様子を常に見ながら、内容の確認をおこなっていく。 ・季節を取り入れた遊びなどの工夫を検討していく。 ・活動内容について、保護者にも具体的にわかりやすく伝える工夫を検討する。
	13 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービスを計画しているか	13	1	0	・子どもたちの状況に合わせて、集団活動をベースに個別対応をおこなったり、個に応じた課題も準備している。	
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	0	1	・系の職員は午後に毎日打ち合わせをおこない、活動の流れ、配置担当などの確認をおこなっている。リハビリ職員とは、活動前に活動確認をおこなっている。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	15 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	14	0	0	・活動終了後におこなっている。個別記録の入力および気づきの共有、次回にむけての話し合いをおこなっている。	
	16 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	0	・子どもの様子や保護者との話を記録し、共有している。また月1回の全体会議で確認・検討をおこなっている。	
	17 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	14	0	0	・6か月に1回保護者と面談をおこなっている。個別支援計画の見直しをおこなっている。見直しには、客観的観察のほか、送迎時や連絡帳の記述などを参考にし、見直す必要性が生じた時には計画の再作成、説明、承認をいただいている。	
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	11	2	0	・計画、評価の際確認している。	
関係機関や保護者との連携	19 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	3	0	・子どもの指導に関わる担当者は参加することとしている。	
	20 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	5	0	・学校との情報共有は、主に保護者を通しており、保護者希望により、学校への見学や担任の先生に見学に来てもらっていることで連携を図っている。 ・下校時刻などについては、保護者を通じて確認している。	・利用児童の様子の共有については、より積極的には行えていない面があると感じるが、今後も保護者を介して連携を図るように努める。
	21 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	6	0	・児童発達支援（おひさま）に通所していた児童の様子については、保護者了解を得た上で情報共有をおこなっている。	・相談支援事業所との情報を共有しているケースもあるが、全児童の就学前保・幼との連携はしていない。
	22 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13	1	0	・児童発達支援センター研修を計画的におこなっている。	・今後も研修内容の充実をすすめる。
	23 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	11	1	・圏域の放課後等デイサービス事業所の第1回連絡会を開催・出席し、情報共有をおこなった。	・南丹圏域障害者総合支援ネットワーク・発達障害支援部会の会議日が放デイ開所日・時間と重なり参加できていないが、会議報告を受けている。
	24 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	0	・送迎時、交流会、事業所内相談支援、連絡帳などで保護者とよく話し合うようにしている。	・活動の様子の報告および支援内容等を保護者に伝えあう機会を設け、課題について共通理解をしていけるように努める。
	25 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	11	2	0	・交流会の中で（褒め方のこつ）の内容で取り組んだ。 ・希望する保護者には個別相談で対応している。	
	26 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13	1	0	・契約時に書面等を使い説明している。	
保護者への説明責任等	27 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	0	・保護者からの申し出の他、来所受付での気づきでスタッフが保護者に声掛けしている。聞き取った内容をスタッフで共有している。	
	28 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	14	0	0	・年3回の交流会で保護者同士の関わりを作っている。 同一曜日の保護者同士は送迎の時などに仲良くされている。	・保護者交流会等頻度として十分でないかもしれないので、今後保護者の意見等取り入れながら検討をすすめる。
	29 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦言があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1	0	・現在苦情としてはないが、体制は整備している。	
	30 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13	1	0	・月1回のお便り発行で、活動の様子や予定連絡などをおこなっている。	
	31 個人情報に十分注意しているか	14	0	0	・児童の名前が入った日案などを持ち出さないように注意している。	・今後も情報管理の徹底を継続する。
	32 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	2	0	・伝わりにくさを感じる場合は再度丁寧な説明を心掛けている。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	5	4	5	・児童発達支援センターとして、花ノ木医療福祉センターの情報発信事業を実施した。	・事業の内容上、行事や直接招いての必要性は低いと考える。	
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	2	0	・契約時、お便りなどで周知に努めている。	・保護者への周知は十分でないかもしれない。今後も周知に努める。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	0	・年1回、避難訓練を実施している。	・今後訓練の回数等検討を進める。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0	0	・花ノ木医療福祉センター全体研修に参加し、参加できなかった職員には伝達研修をおこなっている。	
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	3	1	・建物外へ飛び出し予防のための居室の鍵使用については、会議で検討し必要に応じて使用することを確認している。保護者には、利用契約時に説明をおこなっている。	
	38	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	4	0	・保護者面談の中で、アレルギー等について事前確認をおこない、栄養課と相談している。	
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	1	0	・事象があったときには共有し、改善策を検討し会議で共有している。	